

平成26年度上半期指定管理者管理運営状況シート

様式 3

●施設の概要

施設名	岐阜市少年自然の家	所管課	教育委員会 青少年教育課
所在地	岐阜市山県北野2081番地		
指定管理者名	公益財団法人 岐阜市教育文化振興事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日		
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	130,805,485円		
施設の設置目的	少年が自然に親しみ、自然の中で集団宿泊生活を通じてその情操や社会性を豊かにし、心身を鍛練し、もって健全な少年の育成を図る		
施設概要	宿泊棟、キャンプ場、多目的室、研修室(4)、音楽室、和室、クラブ室		

●利用状況

	H26 上半期	H25 下半期	H25 上半期	H24 下半期	H24 上半期
利用者数(単位:人) 団体数(単位:団体)	18,254 591	10,153 281	17,258 545	10,183 270	15,764 541
開所日数(単位:日)	162	139	157	144	152
団体利用可能日数(単位:日) ※1	162	136	157	140	152
団体利用実績日数(単位:日)	161	131	156	124	150
施設稼働状況(単位:%) ※2	99.4	96.3	99.4	88.6	98.7

※1 【開所日数】-【施設メンテナンス等により利用できない日数】 ※2 【団体利用実績日数】÷【団体利用可能日数】

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①岐阜市少年自然の家条例施行規則第2条、第2条の2の規定を遵守している。 ②指定管理者仕様書1-(1)-①に基づき、適切な人員配置、人員管理を行っている。 ③新聞、ラジオ、ホームページ、パンフレット、チラシ等を活用し、多様な広報活動を行っている。また、主催事業、出前講座等への参加者に直接広報活動を行っている。 ④所独自のモニタリングシステムを構築し、迅速かつ丁寧な対応を行っている。
指定事業自主事業	○受け入れ事業を実施  ○下記主催事業を実施 ①家族のつどい ②子どものつどい ③市民のつどい	○受け入れ事業 ※カッコ内は対前年度比 ・577団体17,342人の小中学校、特別支援学校、青少年団体等を受け入れ(45団体892人増)  ○主催事業 ※カッコ内は対前年度比 ①家族のつどい…2事業(3回)に80家族259人が参加(8家族25人増) ②子どものつどい…2事業に100人が参加(2人減) ③市民のつどい…3月に1事業実施予定



<p>施設修繕</p>	<p>下記の観点からの修繕実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・迅速な修繕の実施</li> <li>・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備</li> </ul>	<p>○迅速な修繕の実施例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊室のロッカー扉が、傾いてうまく閉まらないため、荷物が出し入れしにくい。 ⇒現場を確認後、蝶番を補強</li> <li>・部屋に小さな虫が入ってくる。 ⇒宿泊室の全ての網戸を点検し、緩み、破損部を補修</li> </ul> <p>○指定管理者のノウハウを活かした修繕・整備の実施例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園外も含め30Km以上ある散策道の整備</li> <li>・施設周辺、キャンプ場の植木剪定、間伐、草刈り</li> <li>・武儀川(川活動で使用)の草刈り</li> <li>・ナイトハイコース(公園内・阿原沖)の整備</li> <li>・施設周辺及び散策道のハチの巣駆除</li> <li>・施設周辺の案内看板補修、製作</li> <li>・<b>県道の施設案内看板取替</b></li> <li>・宿泊室ドアクローザーの交換</li> <li>・宿泊室ベッドの破損部補修</li> <li>・宿泊室及び本館棟内の網戸補修</li> <li>・食堂通路扉の補修</li> <li>・<b>つどいの広場に丸太イスを設置(廃材を利用)</b></li> <li>・クラフト、野外炊事等、体験活動に関わる各種備品の修繕・整備</li> </ul>
<p>危機管理・法令遵守</p>	<p>①個人情報の保護</p> <p>②非常時の対応策</p> <p>③関係法令の遵守</p>	<p>①(公財)岐阜市教育文化振興事業団「個人情報保護規程」に基づき、適切に事業運営を行っている。また、「公表事項等に関するご案内」を受付窓口に掲示し、規程に基づく事業運営について、市民への理解を求めていくとともに、全職員に周知徹底を図っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・例えば、個人情報に関するデータは、専用のUSBメモリで集中管理しており、USBメモリは常時耐火金庫で保管している。また、主催事業の応募はがきは、事業終了後、速やかにシュレッダーで裁断し、破棄している。</li> </ul> <p>②<b>非常時の対応策も含め、各種安全マニュアルの見直しを積極的に行っている。また、下記の取組みを継続して行うとともに、「エレベーター救出訓練」、「アナフィラキシー対応研修」などの新たな研修も取り入れている。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地震による火災を想定して、緊急地震速報受信装置を活用した避難訓練を実施するとともに、その対応マニュアルを様々な方法(館内掲示、ビラの配布、受付時の説明など)で利用者に啓発している。</li> <li>・職場全体の防災意識を高め、非常時の対応に備えるため、防災士の資格を有した職員から防災対策について学ぶ機会を積極的に設けている。</li> <li>・本館棟とキャンプ場の2カ所にAEDを設置するとともに、普通(または上級)救命講習を通して、全職員がその取扱いの技能を高めている。</li> <li>・来館者に対し、職員から積極的に声掛けを行うとともに、「さすまた」を設置したり、「防犯研修」に参加したりして、不審者への対応に努めている。</li> <li>・野外炊事や川での活動は、複数の職員を配置し、安全確保の強化に努めている。</li> <li>・キャンプ場での宿泊利用がある場合は、警備員による巡回の他、地元交番に夜間巡回を依頼するなどの対策を講じている。</li> <li>・散策道、キャンプ場等の点検時には、ハチ(スズメバチなど)の巣の有無についても確認するようしており、巣を発見した場合は、利用者に情報を提供するとともに、職員が迅速に駆除している。</li> <li>・岐阜県クママップ(県ホームページ)を活用し、クマ出没に関する情報の収集に努めている。また、9月から利用者が山に入る場合は、クマ鈴を携帯させるなどの安全対策を講じている。</li> </ul> <p>③岐阜市少年自然の家条例、岐阜市少年自然の家条例施行規則等、関係法令を遵守している。</p>

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>○受け入れ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「利用者アンケート」…すべての利用団体の指導者を対象             <ul style="list-style-type: none"> <li>・質問内容:「利用全般」、「施設設備」、「職員の対応」、「食堂での食事」など</li> <li>【満足度の評価区分】</li> <li>「大変満足」・「満足」・「普通」・「不満」・「大変不満」</li> </ul> </li> <li>・「野外学習アンケート」(9月より実施 3月に集計予定)…市内小学校(抽出)の児童を対象             <ul style="list-style-type: none"> <li>・質問内容:自然の家の3つの願いの達成度について</li> </ul> </li> <li>・聞き取りによる調査…下記の機会に利用者に対し要望等の聞き取りを実施             <ul style="list-style-type: none"> <li>〈利用前〉 指導者・引率者を対象とした各種研修会、事前打合せ会、下見対応時</li> <li>〈利用中〉 各活動に対応している職員による聞き取り(常時)</li> <li>指導者と宿直職員との打合せ会(毎日、夜間)</li> </ul> </li> </ul> <p>○主催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「参加者アンケート」…すべての主催事業で実施</li> <li>・質問内容:満足度、自然の家の3つの願いの達成度など</li> <li>【満足度の評価区分】</li> <li>・家族対象事業:「大変満足」・「満足」・「普通」・「不満」・「大変不満」</li> <li>・子ども対象事業:「とても楽しかった」・「楽しかった」・「普通」・「楽しくなかった」</li> <li>「全く楽しくなかった」</li> <li>【自然の家の3つの願いの達成度の評価区分】</li> <li>・家族対象事業:「よく実感できる」・「どちらかといえば実感できる」・「普通」・「あまり実感できない」</li> <li>「実感できない」</li> <li>・子ども対象事業:「できた」・「まあまあできた」・「普通」・「あまりできなかった」・「全くできなかった」</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き取りによる調査…事業の実施中、各活動に対応している職員や施設ボランティアが、参加者から直接、要望等の聞き取りを行っている。</li> </ul>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>○受け入れ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「利用者アンケート」</li> <li>①回収枚数 185枚</li> <li>②初回利用 25枚</li> <li>「利用全般」(96.0%):大変満足60.0% 満足36.0% 普通4.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</li> <li>「施設・設備」(91.7%):大変満足50.0% 満足41.7% 普通8.3% 不満0.0% 大変不満0.0%</li> <li>「職員の対応」(100.0%):<b>大変満足84.0%</b> <b>満足16.0%</b> <b>普通0.0%</b> <b>不満0.0%</b> <b>大変不満0.0%</b></li> <li>「食堂の食事」(76.2%):大変満足33.3% 満足42.9% 普通23.8% 不満0.0% 大変不満0.0%</li> <li>※カッコ内は「大変満足」・「満足」の合計が全体に占める割合</li> <li>【主な意見】</li> <li>・施設が広くてとてもきれいでした。ぜひまた利用したい。</li> <li>・急な備品の貸出し依頼にも迅速に対応してもらい、活動を円滑に行うことができた。</li> <li>・食物アレルギーの子どもへの対応がとても丁寧で、保護者の方も喜んでいました。</li> <li>※その他好意的な意見多数</li> <li>③複数回利用 160枚</li> <li>「利用全般」(96.2%):大変満足57.3% 満足38.9% 普通3.2% 不満0.6% 大変不満0.0%</li> <li>「施設・設備」(94.9%):大変満足49.7% 満足45.2% 普通5.1% 不満0.0% 大変不満0.0%</li> <li>「職員の対応」(98.8%):<b>大変満足77.5%</b> <b>満足21.3%</b> <b>普通1.2%</b> <b>不満0.0%</b> <b>大変不満0.0%</b></li> <li>「食堂の食事」(82.4%):大変満足35.1% 満足47.3% 普通14.5% 不満2.3% 大変不満0.8%</li> <li>※カッコ内は「大変満足」・「満足」の合計が全体に占める割合</li> <li>【主な意見】</li> <li>・洋式トイレが増えたことや、お風呂場などの水まわりがきれいなことなど、清潔感がある。</li> <li>・毎回、子どもたちの心をグッと掴む話術が素晴らしい。丁寧な対応にも好感がもてる。</li> <li>・食事について、衛生面等に十分な配慮がされており、安心できる。</li> <li>※その他好意的な意見多数</li> <li>・聞き取りによる調査</li> <li>・活動プログラムの組み方のほか、熱中症対策、ハチ・ヘビ対策など、活動における安全上の留意点についての質問、要望がある。</li> <li>・今期は、天候悪化に伴う活動プログラムの変更に関する質問、要望が目立っている。</li> <li>・前期と比べ、食物アレルギーへの対応に関する要望が増加しており、その内容もより詳細になってきている。</li> </ul>

利用者アンケートの  
実施結果

○主催事業  
・「参加者アンケート」

【家族対象事業】

○ファミリーDAY ピクニック編(1日)

①回収枚数 18枚

②初めて参加 7枚

【事業の満足度】(100.0%):大変満足57.1% 満足42.9% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%

※カッコ内は「大変満足」・「満足」の合計が全体に占める割合

【自然の家の3つの願いの達成度】

「ほほえみ」(71.4%):よく実感できる57.1% どちらかといえば実感できる14.3% 普通28.6%  
あまり実感できない0.0% 全く実感できない0.0%

「なかま」(57.1%):よく実感できる42.8% どちらかといえば実感できる14.3% 普通28.6%  
あまり実感できない14.3% 全く実感できない0.0%

「自然」(100.0%):よく実感できる42.9% どちらかといえば実感できる57.1% 普通0.0%  
あまり実感できない0.0% 全く実感できない0.0%

※カッコ内は「よく実感できる」・「どちらかといえば実感できる」の合計が全体に占める割合

【主な意見】

- ・内容がとても充実していてよい。
  - ・小学生の野外活動にちょうどよい。
  - ・初めての参加で、とても楽しかった。スタッフの対応も丁寧だった。
- ※その他好意的な意見多数

③複数回参加 11枚

【事業の満足度】(100.0%):大変満足72.7% 満足27.3% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%

※カッコ内は「大変満足」・「満足」の合計が全体に占める割合

【自然の家の3つの願いの達成度】

「ほほえみ」(100.0%):よく実感できる36.4% どちらかといえば実感できる63.6% 普通0.0%  
あまり実感できない0.0% 全く実感できない0.0%

「なかま」(100.0%):よく実感できる27.3% どちらかといえば実感できる72.7% 普通0.0%  
あまり実感できない0.0% 全く実感できない0.0%

「自然」(100.0%):よく実感できる72.7% どちらかといえば実感できる27.3% 普通0.0%  
あまり実感できない0.0% 全く実感できない0.0%

※カッコ内は「よく実感できる」・「どちらかといえば実感できる」の合計が全体に占める割合

【主な意見】

- ・どれも安全に配慮された活動プログラムなので、親として安心できる。
  - ・草花を使った遊びができたので、子どもたちが喜んでいました。
  - ・毎回プログラムの内容が違うのでとても楽しい。
- ※その他好意的な意見多数

○ファミリーDAY 野外炊事編(1日)

①回収枚数 46枚

②初めて参加 33枚

【事業の満足度】(100.0%):大変満足84.8% 満足15.2% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%

※カッコ内は「大変満足」・「満足」の合計が全体に占める割合

【自然の家の3つの願いの達成度】

「ほほえみ」(97.0%):よく実感できる69.7% どちらかといえば実感できる27.3% 普通3.0%  
あまり実感できない0.0% 全く実感できない0.0%

「なかま」(90.9%):よく実感できる60.6% どちらかといえば実感できる30.3% 普通9.1%  
あまり実感できない0.0% 全く実感できない0.0%

「自然」(81.8%):よく実感できる57.6% どちらかといえば実感できる24.2% 普通15.2%  
あまり実感できない3.0% 全く実感できない0.0%

※カッコ内は「よく実感できる」・「どちらかといえば実感できる」の合計が全体に占める割合

【主な意見】

- ・子どもが、思っていたよりいろいろできるようになっていて成長を感じた。
  - ・進行やスタッフのサポートがしっかりしていて、あっという間に終わったと感じるほど充実している。
  - ・火おこしやお釜での炊飯など、家庭ではできない初体験を家族で楽しめた。
- ※その他好意的な意見多数

③複数回参加 13枚

【事業の満足度】(100.0%):大変満足69.2% 満足30.8% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%

※カッコ内は「大変満足」・「満足」の合計が全体に占める割合

【自然の家の3つの願いの達成度】

「ほほえみ」(100.0%):よく実感できる53.9% どちらかといえば実感できる46.1% 普通0.0%  
あまり実感できない0.0% 全く実感できない0.0%

「なかま」(84.6%):よく実感できる46.1% どちらかといえば実感できる38.5% 普通7.7%  
あまり実感できない7.7% 全く実感できない0.0%

「自然」(76.9%):よく実感できる46.1% どちらかといえば実感できる30.8% 普通15.4%  
あまり実感できない7.7% 全く実感できない0.0%

※カッコ内は「よく実感できる」・「どちらかといえば実感できる」の合計が全体に占める割合

利用者アンケートの  
実施結果

【主な意見】

- ・クラフト活動で作った水鉄砲で遊ぶ子どもが生き活きしていた。
- ・子どもたちが、炊事をする父親の姿を見て、「かっこいい」と喜んでいました。
- ・スタッフの方々が、こまめに声掛けをしてくれたり、子どもにやさしく接してくれたりして大変ありがたかった。

※その他好意的な意見多数

【子ども対象事業】

○自然は友だちキャンプ 野遊び隊(1泊2日)

①回収枚数 50枚

②初めて参加 33枚

【事業の満足度】(97.0%) : とても楽しかった90.9% 楽しかった6.1% 普通3.0%  
楽しくなかった0.0% 全く楽しくなかった0.0%

※カッコ内は「とても楽しかった」・「楽しかった」の合計が全体に占める割合

【自然の家の3つの願いの達成度】

「ほほえみ」(96.9%) : できた59.4% まあまあできた37.5% 普通3.1% あまりできなかった0.0%  
できなかった0.0%

「なかま」(87.5%) : できた78.1% まあまあできた9.4% 普通9.4% あまりできなかった3.1%  
できなかった0.0%

「自然」(96.9%) : できた84.4% まあまあできた12.5% 普通3.1% あまりできなかった0.0%  
できなかった0.0%

※カッコ内は「できた」・「まあまあできた」の合計が全体に占める割合

【主な意見】

- ・炊事の時、お釜やなべを特に頑張って洗った。また参加したい。
- ・初めて会ったみんなが、仲よくしてくれてうれしかった。
- ・カエルを見つけることができて楽しかった。

※その他好意的な意見多数

③複数回参加 17枚

【事業の満足度】(94.1%) : とても楽しかった82.3% 楽しかった11.8% 普通5.9%  
楽しくなかった0.0% 全く楽しくなかった0.0%

※カッコ内は「とても楽しかった」・「楽しかった」の合計が全体に占める割合

【自然の家の3つの願いの達成度】

「ほほえみ」(88.2%) : できた53.0% まあまあできた35.2% 普通5.9% あまりできなかった5.9%  
できなかった0.0%

「なかま」(94.1%) : できた64.7% まあまあできた29.4% 普通5.9% あまりできなかった0.0%  
できなかった0.0%

「自然」(100.0%) : できた88.2% まあまあできた11.8% 普通0.0% あまりできなかった0.0%  
できなかった0.0%

※カッコ内は「できた」・「まあまあできた」の合計が全体に占める割合

【主な意見】

- ・テント片づけや野外炊事が、前より早くできたのでうれしかった。
- ・5年生として、4年生の子の世話をしっかりできたことがよかった。
- ・イタドリを使ったクラフトがとても楽しかった。

※その他好意的な意見多数

○アドベンチャーキャンプ わんぱく村(4泊5日)

①回収枚数 50枚

②初めて参加 41枚

【事業の満足度】(100.0%) : とても楽しかった79.5% 楽しかった20.5% 普通0.0%  
楽しくなかった0.0% 全く楽しくなかった0.0%

※カッコ内は「とても楽しかった」・「楽しかった」の合計が全体に占める割合

【自然の家の3つの願いの達成度】

「ほほえみ」(80.5%) : できた46.3% まあまあできた34.2% 普通9.8% あまりできなかった2.4%  
できなかった7.3%

「なかま」(78.0%) : できた53.6% まあまあできた24.4% 普通12.2% あまりできなかった9.8%  
できなかった0.0%

「自然」(85.4%) : できた58.5% まあまあできた26.9% 普通7.3% あまりできなかった7.3%  
できなかった0.0%

※カッコ内は「できた」・「まあまあできた」の合計が全体に占める割合

【主な意見】

- ・最初はかまどの薪になかなか火をつけられなかったけど、4日目からは一度でつけることができるようになったのでうれしかった。
- ・周りの人に進んで話しかけることができたのでよかった。秋のキャンプも参加したい。
- ・川遊びで、大きな魚がたくさん捕れたので楽しかった。

※その他好意的な意見多数

<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>③複数回参加 9枚  <b>【事業への満足度】(89.0%) : とても楽しかった44.5% 楽しかった44.5% 普通11.0% 楽しなかった0.0% 全く楽しなかった0.0%</b>  ※カッコ内は「とても楽しかった」・「楽しかった」の合計が全体に占める割合  <b>【自然の家の3つの願いの達成度】</b>  「ほほえみ」(88.9%) : できた55.6% まあまあできた33.3% 普通11.1% あまりできなかった0.0% できなかった0.0%  「なかま」(100.0%) : できた66.7% まあまあできた33.3% 普通0.0% あまりできなかった0.0% できなかった0.0%  「自然」(66.7%) : できた44.5% まあまあできた22.2% 普通22.2% あまりできなかった11.1% できなかった0.0%  ※カッコ内は「できた」・「まあまあできた」の合計が全体に占める割合  <b>【主な意見】</b>  ・急な雨があって大変だったが、キャンプでは自分の役割を果たすことができた。  ・キャンプ最後の日には、班の子ともお互いに名前を覚えて仲良くなれたことがよかった。  ・班の仲間と火おこしや山歩きなど、普段なかなかできない体験をしたことがよい思い出になった。  ※その他好意的な意見多数</p> <p>・聞き取りによる調査  ・活動プログラムやその具体的な内容についての質問、要望が多数である。  ・食物アレルギーへの対応に関する質問が増えている。  ・家族を対象とした事業では、家族構成に応じた指導・支援の要望がある。(未就学児への対応等)</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>○受け入れ事業  入所から退所まで、各活動に必ず担当職員を配置しているため、意見等に対しては、担当職員が直接本人に回答している。また、宿直職員と団体指導者との打合せ会(毎日、夜間)、退所時(精算時)等に、施設としての考え方を説明している。  利用者全般に関わる内容については、ホームページを活用し、意見等に対する考えや対応について回答している。  <b>【主な意見と対応】</b>  ・食堂食のネギが少し硬く感じる。(複数回利用)  ⇒食堂業者に対し、食材の状態を見極め、細かく切るなどの指示をしている。  ・キャンプ場のトイレに毛虫がたくさんいたので、子どもたちが怖がっていた。(複数回利用)  ⇒今年度は、毛虫が大発生したため、キャンプ場などの草刈りを入念に行ったり、適宜捕殺による駆除を行ったりしている。  ・宿泊室でドライヤーが使えるようにしてほしい。(初回利用)  ⇒利用団体に対し、「事前打合せ会」や利用当日の受付の際、下記の内容を伝えている。  ・宿泊室は、施設の構造上、ドライヤーの使用に十分な電力の容量が確保できないこと  ・ドライヤーは、脱衣場に設置してあること  ・食堂食の量が、大人には少し足らなかった。  ⇒利用団体に対し、「事前打合せ会」の際、食事の量を増やして注文できることを伝えている。</p> <p>○主催事業  開始から終了まで、各活動に必ず担当職員を配置しているため、意見等に対しては、担当職員が直接本人に回答している。また、必要に応じて各事業の「終わりの会(全体会)」で、施設としての考え方を説明している。  事業全般に関わる内容については、係会、所内経営会議、職員会議を経て検討を重ね、次回の事業や次年度の事業のよりよい運営に活かしている。  <b>【主な意見と対応】</b>  ・水遊びの用意がなかったのので、持ち物に「着替え」が書いてあるとよい。(初めて参加)  ⇒チラシなど、参加者への案内に不備がないか確認の徹底を行っている。  ・キャンプ場の場所がわかりにくい。(初めて参加)  ⇒職員や施設ボランティアが参加者集合時に駐車場に立ち、キャンプ場への誘導を行っている。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	I 住民の平等 利用が確保 されること	(1)『住民の平等利用が確保されること』に対する基本的な考え方(理解度、取組姿勢など)	①利用調整委員会を開催し、利用調整を行っているか。 ②主催事業において、幅広い市民への参加の機会と周知を図っているか。	SS	SS	SS
		(2)平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	①障がい者を含め幅広い層の利用を促すため、ソフト面での配慮を推進しているか。	A	A	A
		(3)情報公開、広報の方策	①市内小中学校、市内少年団体、当年度利用諸団体に対する次年度への呼びかけ及びホームページ等も含めた紹介・啓発をしているか。	S	S	S
		(4)個人情報を保護するための方策	①個人情報保護規定を制定し、個人情報の保護や情報公開の取り扱いについて、十分配慮しているか。	S	A	A
	区分評価					S
効果性	II 事業計画書 の内容が、 対象施設の 効用(設置 目的)を最 大限発揮す るものである こと	(1)『事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること』に対する基本的な考え方(理解度、取組姿勢など)	①「岐阜市少年自然の家運営方針」のとおり「ほほえみ、なかま、自然」を大切に施設運営をしているか。	A	A	A
		(2)既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	①主催事業等の活動プログラムの改善を図っているか。	SS	SS	SS
		(3)利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	①利用者・団体に対してアンケート調査を行い、結果を集約し、改善に努めているか。	S	S	S
		(4)利用者に対するサービス向上の方策	①利用団体の活動に対し、可能な限り職員を配置し、適切な指導・援助を行っているか。	SS	SS	SS
		(5)利用促進、利用者増の方策	①利用者の少ない冬季を含め、事業の充実等により利用の促進に努めているか。	SS	S	S
		(6)施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	①利用団体の活動に合わせ、必要に応じ宿直、夜勤、通常勤務、週休等を割り振り対応しているか。	S	S	S
	区分評価					S



区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
効率性	Ⅲ 事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること	(1)『事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること』に対する基本的な考え方(理解度、取組姿勢など)	①利用者の安全を第一に考え必要経費に優先順位をつけ、管理的経費の削減に努めているか。	A	A	A
		(2)指定管理経費の設定額	①収支予算書との妥当性はどうか。	A	A	A
		(3)指定管理経費の妥当性(サービスとコストのバランスなど)	①利用者へのサービスを低下することなく、コストの削減に努めているか。	S	S	S
		(4)収支計画の妥当性	①削減できる予算、プラスしなければならない予算について、検討、研究しているか。	A	A	A
		(5)管理経費削減の具体的方策	①事業・活動の目的の範囲内で引き続き経費の削減に努めているか。例えば啓発紙等印刷物は可能な限り、電子メール等電子媒体を取り入れているか。	S	S	S
		(6)スタッフ配置の妥当性(無理はないか)	①施設の性質上、不規則勤務にならざるを得ないが、宿直勤務は可能な限り必要最低限とし、無理のない勤務体制としているか。	S	S	S
	区分評価					A
安定性 安全性	Ⅳ 事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	(1)『事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること』に対する基本的な考え方(理解度、取組姿勢など)	①職員は行政計画、教育指針等を常に把握して野外活動に取り組んでいるか。	A	A	A
		(2)当該公の施設に類似あるいは関連する事業、業務などの実績	①類似施設等の管理実績を参考にしているか。	S	S	S
		(3)経営基盤の安定性	①公益事業に精通した団体で、物的能力、人的能力、専門的能力を有しているか。	S	A	A
		(4)組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識など	①小・中・高・養護各教諭免許、社会教育・社会福祉各主事資格、防火管理・危険物取扱各免許など専門知識や経験が活かされているか。	S	S	S
		(5)スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	①より良いサービス、活動を提供するために、職員が勤務しやすい職場環境ができていますか。	S	S	S
		(6)スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	①経理・文書・施設管理・里山の自然等業務についての基本知識の他、個人情報保護・安全衛生・救命救急・接遇・人権等の研修が行われているか。	S	S	S
		(7)リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)及び対応能力(資金力、損害賠償能力など)	①野外活動エリアの安全点検・館内外の巡回・消毒清掃・衛生指導・避難訓練等を実施しているか。非常時の対応が確認されているか。	A	A	A
	(8)学校及び教育委員会との連携	①学校や教育委員会との連携がなされているか。	SS	SS	SS	
区分評価					S	
貢献性	Ⅴ 事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下、「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	(1)『事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下、「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること』に対する基本的な考え方(理解度、取組姿勢など)	①市の方針に基づいた計画で、地域の振興・活性化に貢献する計画となっているか。	A	A	A
		(2)地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	①地元の法人その他の団体との連携に務めるとともに、その育成に取り組んでいるか。	S	S	S
		(3)地元の住民、高齢者、障がい者等の雇用	①施設の維持管理等のため、従事者を雇用する場合、地元の住民等の雇用に留意しているか。	S	S	S
		(4)地元での資材等の調達	①資材購入にあたっては、地元の業者による調達に留意しているか。	S	S	S
	(5)その他地元への貢献に関すること	①地元で実施される社会活動等への、積極的な参加に務めているか。	S	S	S	
区分評価					S	

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>・小中学校、青少年団体等の次年度の利用日については、希望時期だけでなく、各団体の主たる活動や活動場所に十分配慮し、きめ細やかな調整を図っている。また、必要に応じて休所日を臨時開所するなど、柔軟な体制づくりにより、可能な限り各団体の希望に沿うよう努めている。なお、今期は小中学校や青少年団体等の代表者を委員とする「利用調整委員会」の第1回及び第2回を開催しており、公平性・透明性の観点に十分留意しながら調整作業を進めている。</p> <p>《参考》</p> <p>第1回「利用調整委員会」(6/16):利用調整原則、利用調整方法の承認          第2回「利用調整委員会」(8/28):市内小中学校及び特別支援学校の次年度利用日の承認          第3回「利用調整委員会」(10/30):市外小中学校及び青少年団体等の次年度利用日の承認</p> <p>・各団体の指導者には、利用日1カ月ほど前に実施する「事前打合せ会」に出席を依頼している。例えば5団体以上が同泊される場合も数多くあるが、この「事前打合せ会」を通して、各団体の指導者から宿泊室、活動場所等の要望を丁寧に聞き取り、公平・公正な調整を図っている。</p> <p>・各団体から体育館、ラグビー・サッカー場等、当施設が直接管理運営していないスポーツ施設の利用希望があった場合も、関係機関との連絡を密に行い、円滑な調整を図っている。なお、上記2点の内容も含め、利用者から公平性・透明性を欠くといった指摘は、一切受けていない。</p> <p>(I-1)-①)</p> <p>・主催事業の募集については、チラシ配布やホームページ、「広報ぎふ」、ラジオ、雑誌等、各種媒体を積極的に活用し、幅広く市民に周知を図っている。また、当施設の利用者はもちろんのこと、数多く実施している出前講座などを通して、他施設の利用者にも直接呼びかけを行っている。</p> <p>(I-1)-②)</p> <p>・当年度利用された団体(または利用予定の団体)及び新規に利用を希望する団体に対して、「利用希望調査報告書」(希望時期の記入用紙)を送付し、次年度の呼びかけを確実にしている。</p> <p>・より多くの団体に施設を活用していただくためには、宿泊室や活動場所などの関係から、利用時期の分散化を図る必要があり、ホームページや電話対応などを通じて、その啓発を積極的に行っている。</p> <p>・利用に関するQ&amp;A、利用者アンケートの結果、主催事業の募集及び活動報告等をホームページに掲載し、積極的に施設や各種事業の紹介・啓発を行っている。</p> <p>・「自然の家だより」を定期的に発行したり、岐阜市自然・環境活動情報サイト「ぎふネイチャーネット」に積極的に投稿したりするなど、身近な自然や自然の家の活動への関心を高めるための情報発信に努めている。</p> <p>・「季節の散策マップ」を岐阜ファミリーパーク内休憩所に設置し、公園を訪れる多くの市民に活用されている。</p> <p>・9月に岐阜市広報テレビ番組「ぎふっciao!」の取材を受け、当日行った主催事業「ファミリーDAY 野外炊事編」を通して、施設の概要や主催事業の魅力を紹介している。(10月より、およそ1ヵ月間放送予定)</p> <p>(I-3)-①)</p> <p>・保有する個人情報を適正に取り扱うことは社会的責務であり、個人情報保護研修や職員会議などを通じて、当事業団の定める「個人情報保護宣言」に基づく対応の徹底を図っている。</p> <p>(I-4)-①)</p> <p>・主催事業では、PDCAサイクルに基づき、すべての事業で活動プログラムの改善を図っている。改善にあたっては、継続して行っている下記の取組みの成果を十分に活かしており、結果、すべての事業を通して、新規参加者、リピーターのいずれからも大変高い満足度を得ている。</p> <p>《活動プログラムの改善に関わる取組み》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主的な「活動プログラム開発研修」の実施</li> <li>・活動プログラムの改善に役立つ各種研修会への参加</li> <li>・動植物調査等、全職員が年間を通して取り組む「自己課題」の推進</li> </ul> <p>・受け入れ事業では、野外炊事やクラフト活動に新規メニューを取り入れたり、ウォークラリー・オリエンテーリングコースの設定を見直したりするなど、活動プログラムを大幅に改善するとともに、その内容の周知を図り(※)、利用者から大変好評を得ている。</p> <p>(※改善した内容の周知を図るため、その内容をまとめた新規「活動解説資料」(冊子)を当施設の活動プログラムを活用されるすべての団体に配布し、説明を行っている。)</p> <p>(II-2)-①)</p>
--------------------------	---

今期の取組み  
に対する評価

・受け入れ事業では、すべての団体に対して「利用者アンケート」への協力を依頼している。また、「事前打合せ会」、下見、当日の対応時等、多様な機会に直接、要望・苦情等の聞き取りを行っている。アンケートの結果、聞き取りの結果については、職員会議、「朝の打合せ会」等で共通理解を図り、改善に努めており、職員対応等の高い評価につなげている。

・主催事業では、すべての事業で「参加者アンケート」を実施し、その結果については、職員会議で共通理解を図っている。また、次回事業の改善、向上に向けて、その結果を十分反映することにより、各事業の高い満足度につなげている。**なお、今期は自然の家の3つの願いである「ほほえみ、なかま、自然」の達成度を把握するため、「参加者アンケート」の様式を改善しており、その結果を各事業運営の向上に向けて、効果的に活用している。**

・当施設だけでなく、岐阜ファミリーパーク全体への要望・苦情等も把握するため、公園管理者(岐阜市みどりのまち推進財団)、岐阜ファミリーパーク体育館との連絡を密に行い、改善すべき内容は、三者が協力して対応している。  
(Ⅱ-3)-①)

・すべての団体のすべての活動に職員を配置し、適切な指導・支援を行っており、特に野外炊事や川での活動には、より安全性を高めるため、複数の職員を配置している。

・**今期は特に台風や大雨などの影響により、各団体の活動計画の変更が多数あったが、「朝の打合せ会」等で、指導・支援体制の調整、確認をし、適切に職員を配置している。**

・準備段階である「事前打合せ会」や下見等においても、すべての団体に職員を配置し、指導者への適切な指導・支援に努めている。

・宿泊学習への対応と並行し、遠足、社会見学等で岐阜ファミリーパークを訪れる団体に対しても、各種プログラムを提供し、積極的に指導・支援を行っている。

・「こどもスマイルステーション」(※)を設置し、利用される団体以外にも広く市民にサービスを提供している。

(※主に登下校時の小中学生が天候の急変やトイレで困ったとき、体調不良のときなどの際に施設へ気軽に立ち寄れるよう、当事業団が管理運営する15施設に設置している。)  
(Ⅱ-4)-①)

・多種多様な方策(下記に主な方策)により利用促進を図り、**今期は対前年度比46団体996人増の結果となっている。**なお、今期の開所日数が対前年度比5日間増の162日となっている主な理由は、各小中学校の希望時期に可能な限り応えるため、前年度よりも多く臨時開所したためである。

〈利用促進のための主な方策〉

- ・「自然の家だより」の発行をはじめ、ホームページや「広報ぎふ」、ラジオ、雑誌等、各種媒体を積極的に活用する
- ・出前講座や事業協力などを数多く実施し、他施設の利用者に直接呼びかける
- ・各団体からの問い合わせに対し、「もう一押し運動」(※)を実践する  
(※希望日が満室等の理由で利用できない団体に対し、別の期日での利用を積極的に働きかける)

・**冬季については、12月～2月期間の利用者5団体300人増(前年度比)を施設目標の一つに掲げ、この期間に特化した方策(下記に主な方策)に基づく啓発活動を年度当初から継続して行っている。**

〈冬季の利用促進に関わる主な方策〉

- ・ホームページに12月～2月期間の空室状況を掲載する
- ・大学生サークルなど、12月～2月期間の平日に利用可能な団体に直接呼びかける
- ・**冬季ならではの魅力ある活動プログラムを開発し、その活用を啓発する**

(Ⅱ-5)-①)

・職員の勤務(通常勤務、夜間勤務、宿直勤務)の割り振りについては、下記の内容に留意し、施設の効用(設置目的)を最大限発揮できる体制づくりに努めている。

〈受け入れ事業に関わる勤務割振りの留意点〉

- ・入所から退所まで、すべての団体のすべての活動に職員を配置すること
- ・野外炊事や川での活動などには、より安全性を高めるため、複数の職員を配置すること
- ・天候等の理由による大幅な活動計画の変更にも対応できる柔軟な体制づくりを行うこと
- ・宿泊団体のある場合は、防災、防犯の観点から必ず宿直職員と警備員(委託業者)を配置すること
- ・準備段階である「事前打合せ会」や下見等においても、すべての団体に職員を配置すること

〈主催事業に関わる勤務割振りの留意点〉

- ・事業担当者は、開始から終了まで、すべての活動に対応できる勤務を割り振ること(泊を伴う事業では、宿直勤務)
- ・すべての事業に養護教諭の資格のある職員を配置すること(泊を伴う事業では、宿直勤務)
- ・事業担当者の他、すべての活動に補助的な役割を担う職員を配置すること(例えば、星空観察やキャンプファイヤーの活動を補助する職員は、夜間勤務)

〈その他の事業に関わる勤務割振りの留意点〉

- ・「学校指導者研修会」など、各種研修会の実施にあたっては、各団体からの質問に迅速に回答するため、可能な限り多くの職員を配置すること
- ・出前講座や事業協力などを行う際には、参加者数、活動内容などを踏まえ、適切な人員を派遣すること

(Ⅱ-6)-①)

・利用者へのサービスを低下することなく、コストの削減を図るため、様々な取組みを継続して行っており、**今期は特に下記の取組みで大きな成果があったと捉えている。**

＜特に大きな成果があったと捉えている取組み＞

- ・消灯確認の徹底、計画的なLED化、明るさのこまめな調整(例:天候に応じて昼間に使用する照明の数を減らす)など、利用者の活動に支障のない範囲での節電対策の取組み  
⇒電気使用量:今期の累計93.6%(対前年度比)  
⇒電気料金:今期の累計97.5%(対前年度比)  
    **※5月より電気料金の削減のため、電力供給事業者を変更**
- ・木材調達のためのネットワークの拡大(木工廃材、間伐材などの無償提供元 5カ所)  
⇒調達した木材を加工し、野外での休憩用に椅子を多数設置した他、散策道の整備や各種看板の補修など、多方面に活用

(Ⅲ-(3)-①)

・業務要求水準の例に示された電子メール等、電子媒体の活用については、特に「自然の家だより」の発行や「ぎふネイチャーネット」への投稿など、自然情報の発信において、積極的に実践している。また、宿泊室の扉や網戸の補修、朽木の伐採、ハチの巣の駆除、教材の準備、加工など、多岐にわたる作業を可能な限り自前で行い、大幅な経費削減を図っている。

・各職員が類似施設での研修や「自己課題」に積極的に取り組むことにより、自然体験活動に関わる高い専門性を有しており、外部講師に依頼することなく、質の高い事業を展開している。

(Ⅲ-(5)-①)

・団体が宿泊される場合は、防犯・防災等、安全面の観点から必ず宿直員を配置している。ただし、宿直員は必要最低限(原則1名)とし、無理のないよう8名の職員がローテーションで担当している。また、宿直員に過度な負担がかからないよう、団体数が多い日や活動対応が多岐に及ぶ日は、夜間勤務の職員をその補助として適切に配置している。なお、夜間の火災、地震等に備えた非常時の対応については、宿直員、警備員、各団体の指導者・引率者が宿泊し、非常時対応マニュアルに基づく体制づくりを行っている。

・泊をともなう主催事業については、必要最低限の宿直員のみ(事業担当者と養護教諭資格を有した職員のみ)を配置しており、安全性を確保しつつ、事業運営の効率化を図っている。

・各職員が無理なく計画的に業務を行えるよう、「年間予定表」、「月間予定表」、「週間予定表」を早期に作成し、周知を図っている。

(Ⅲ-(6)-①)

今期の取組み  
に対する評価

・当事業団で毎月開催している合同会議(施設長会・経営会議)を通して、関連施設(ドリームシアター岐阜、市生涯学習/女性センター等)の管理実績を把握し、参考にしていく。

・当施設から県内自然の家へ呼びかけ、6月に4施設(乗鞍・各務原・中池・岐阜)の連絡会議を実施している。この会議では、各施設の魅力ある取組みや抱えている課題、今後の協力体制などについて意見交流を行っており、その内容を施設運営に十分活かしている。

・当施設から公園管理者(岐阜市みどりのまち推進財団)、岐阜ファミリーパーク体育館に呼びかけ、9月に岐阜ファミリーパーク全体の三者会議を実施している。この会議では、公園全体の課題への対応に加え、各施設の経費削減に対する取組みや利用者増の方策などについても意見交流を行っており、その内容を施設運営に十分活かしている。

(Ⅳ-(2)-①)

・当事業団は、昭和63年に設立されて以来、岐阜市からの委託(※)を受け、26年間にわたり青少年教育施設、生涯学習施設等の公共施設の管理運営を行っている。また、平成23年度からは公益財団法人として各施設の管理運営を行っており、公益事業に精通した団体である。

(※平成18年度からは指定管理者として委託)

・物的能力、人的能力、専門的能力については、下記の理由から十分に有していると捉えている。

＜物的能力＞

・寝具、食器、机、イス等、館内で日常的に使用する備品については、最大定員(宿泊棟324人)に常に対応できるよう、予備も含め、計画的に購入(または交換、修繕)している。また、野外炊事、テント設営、クラフト、川遊び、レクリエーション等、各種体験活動に使用する備品については、最大人数(活動毎に安全性、活動場所の広さなどを考慮して設定)が使用すること、複数の団体が同時に使用すること、団体への対応と並行して主催事業や事業協力、出前講座などを行うことを想定し、十分な個数・量を維持管理している。**結果、物的能力に関わる「利用者アンケート」の項目「施設・設備」で高い評価を得ている。**

＜人的能力＞

・施設の効用(設置目的)を最大限発揮するため、15名の職員をローテーション(通常勤務、夜間勤務、宿直勤務)で配置し、(Ⅱ-(4)-①)及び(Ⅱ-(6)-①)に記載した取組みを着実に実行している。**結果、「利用者アンケート」では、「どの活動にも担当職員の方がいて安心」、「計画変更等、急な依頼にも対応が迅速」など、人的能力を高く評価する意見・感想が多数見られる。**

＜専門的能力＞

・(Ⅳ-(4)-①)に記載した専門的能力を有している他、職員同士が相互評価できる場を数多く設定したり、(Ⅳ-(6)-①)に記載した研修を実施したりすることにより、積極的にその能力の向上を図っている。**結果、「利用者アンケート」では、専門的能力に関わる項目「職員の対応」で高い評価を得ており、「子どもたちを惹きつけ、説明がとてわかりやすい」、「指導者へのアドバイスが的確」などの意見・感想が多数見られる。**

(Ⅳ-(3)-①)

今期の取組み  
に対する評価

・小・中・高・養護各教諭免許、社会教育主事資格、防火管理・危険物取扱各免許、オリエンテーリングインストラクター、キャンプインストラクター、ラジオ体操指導員等の資格を有し、専門知識や経験を十分に活かしている。また、野外活動を主とする施設の特性上、職員全員が救命技能(普通または上級)を有し、急病人等の対応に備えている。  
・基本的な資格(甲種防火管理者等)から専門性に関わる資格(キャンプインストラクター等)まで、施設運営上必要な資格全般を整理(資格名・内容・利点・効果等)し、各職員の計画的な資格取得及び保有する資格者の増員に努めている。  
・動植物に対する知識や自然体験活動のノウハウを備えた人材が多数従事しており、その専門性を指定管理業務の各事業及び自主企画事業に十分に活かしている。**また、今期は出前講座などを数多く実施しており、施設内にとどまらず、その専門性を活かす場を広げている。**  
・木工備品の製作及び施設修繕を行う専門職員が従事しているため、教材の準備、加工、各種看板の設置、宿泊室の扉や網戸の補修など、多岐にわたる作業を可能な限り自前でやっている。  
(IV-(4)-①)

・職員が働きやすい職場環境を整えるため、当事業団の策定した行動計画に基づき、下記の目標の達成に努めている。  
目標1: 女性職員の育児休業取得率80%以上  
目標2: 育児休業、産前産後休業等、諸制度に関する研修会への積極的な参加  
目標3: 年次有給休暇取得の推進  
・1ヶ月単位の変形労働時間制を取り入れ、無理のない勤務体制を編成するとともに、毎週日曜日を「ノー残業デー」とし、職員全員がこれを遵守している。  
・当事業団はリフレッシュ休暇(心身の健康維持及び家庭生活の充実等のための特別休暇)の取得を推進しており、当施設においても対象となる職員全員がこれを取得する予定である。  
(IV-(5)-①)

・職員研修については、個人情報保護・安全衛生・救命救急・接遇等、基本的な資質に関わる研修の他、「川下り研修」、「プログラム開発研修」など、職員の専門性の向上を目的とした研修を積極的に行っている。**また、「エレベーター救出訓練」、「アナフィラキシー対応研修」など、非常時に備えた新たな研修も取り入れている。**  
・**下半期に環境教育に関わる数種類のプログラムの開発を計画しており、これに基づき今期は、「環境保護研修」、「メガソーラー見学会」などに職員を派遣し、情報収集を行っている。**  
・各研修の終了後には、文書だけでなく、必ず報告会を実施しており、職員全員でその成果を共有できるよう努めている。  
(IV-(6)-①)

・「利用調整委員会」(6月、8月)、「運営審議会」(8月)を通じて、学校及び教育委員会の各代表者に対して、施設の成果や課題、来年度利用に関する内容などを説明し、いただいた意見、要望等を施設運営に十分活かしている。  
・**教育施設研修員制度やインターンシップ事業、「あゆっこプロジェクト」(キャリア教育)を通して、学校教員や学生、小学生に研修(または職場体験)の機会を積極的に提供している。**  
・**利用された市内小学校に依頼し(抽出)、児童を対象としたアンケート調査を9月から実施している。この調査は、自然の家の3つの願い「ほほえみ、なかま、自然」の達成度を図るためのもので、今後、分析結果をもとに活動プログラムや指導・支援の在り方を見直していきたいと考えている。**  
・**宿泊学習だけでなく、遠足、社会見学、出前講座等で、多くの学校が当施設の活動プログラムや職員の専門性を活用している。**  
・児童・生徒を中心とする利用だけでなく、岐阜市内初任者研修会、岐阜市学校人権教育研究会、岐阜県小中学校理科研究部会等、学校職員の研修・研究を目的とした利用を積極的に受け入れている。  
・岐阜大学、岐阜女子大学、岐阜聖徳学園大学等、6大学から多くの学生が施設ボランティアとして参加し、主催事業、団体対応、施設整備等、多方面で活躍している。(平成26年度新規登録者数34名 全体登録者数80名)  
(IV-(8)-①)

・市内小中学校、市内青少年団体の来年度の利用日については、優先的に調整を図り、その育成に寄与している。  
・**近隣の三輪北小学校、三輪南小学校をはじめ、市内小学校、市内公共施設(団体)に対して、積極的に出前講座や事業協力を行っており、その育成に寄与している。**  
・「事前打合せ会」等を通して、各団体に隣接する体育館(「岐阜ファミリーパーク体育館」)の効果的な活用方法を呼びかけ、その利用者の拡大に寄与している。  
・岐阜大学、岐阜女子大学、岐阜聖徳学園大学等、6大学から多くの学生が施設ボランティアとして参加しており、年3回(今期は6月に2回)の研修会をはじめ、主催事業、団体対応、施設整備等の活動を通して、その育成に取り組んでいる。(平成26年度新規登録者数34名 全体登録者数80名)  
(V-(2)-①)

今期の取組み  
に対する評価

- ・従事者の雇用に関しては、下記のように地元住民や高齢者、障がい者の雇用に十分留意している。  
《当施設及び当事業団の従事者の雇用状況》
- ・平成26年度当施設職員15名中、80%の12名が岐阜市在住  
(参考:地元住民の雇用を原則とする仕様書に基づき、給食委託業者の従事者11名中10名が岐阜市在住)
- ・平成26年度当事業団職員118名中、74%の87名が岐阜市在住
- ・平成26年度当施設職員15名中、20%の3名が60歳以上
- ・平成26年度当事業団職員118名中、46%の54名が60歳以上  
(参考:当事業団の嘱託職員の定年は65歳、臨時職員の定年は70歳)
- ・平成26年度当事業団の障がい者雇用率3.4%  
(参考:国の定めた障がい者法定雇用率2.0%)

(V-(3)-①)

・消耗品の購入は、岐阜市内の業者から調達することを原則としており、今期の実績は下記のとおりである。

《岐阜市内の業者からの消耗品調達実績》

- ・当施設:52件中、96%の50件
- ・当事業団:410件中、98%の403件

(V-(4)-①)

・8月に三輪北自治会連合会・三輪北青少年育成市民会議の主催する「三輪北夏祭り」に事業協力を行っている。具体的には、出店という形で体験コーナー(自然物を活かした輪投げ)を設け、地元住民200人以上に直接、対応している。また、11月に開催予定の「三輪北文化祭」にも事業協力を予定しており、今期はその準備を進めている。

・地元貢献するためのひとつの方策として、「子どもスマイルステーション」(※)を設置し、利用される団体以外にも広く市民にサービスを提供している。

(※主に登下校時の小中学生が天候の急変やトイレで困ったとき、体調不良のときなどの際に施設へ気軽に立ち寄れるよう、当事業団が管理運営する15施設に設置している。)

・毎月、職員会議を行う日に岐阜ファミリーパーク及びその周辺の清掃活動を実施している他、「長良川を美しくしよう運動」に参加している。また、川下りや川遊びの対応時には、担当職員が自主的に川原の清掃活動を行っている。

(V-(5)-①)

※その他の評価項目については、事業計画書の内容どおり履行している。

<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>所管課の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、安全対策や子どもの実態等の今日的な課題を踏まえた工夫、改善を加えながら、施設運営を充実させていくことを期待する。</li> <li>⇒野外活動エリアの安全点検、館内外の巡回、衛生指導等、施設運営上、基本的な安全対策については、例えば、散策道の点検回数を増やす、館内外の点検項目を見直す、利用者への啓発(貴重品の取扱い、熱中症予防など)の機会を拡大するなど、その強化に取り組んでいる。</li> <li>⇒<b>各種安全マニュアルの整備とそれに基づく安全対策の強化を施設目標の一つに掲げ、今期は既存マニュアルの見直しや追加項目の検討などの作業を計画的に進めている。</b></li> <li>⇒「エレベーター救出訓練」、「アナフィラキシー対応研修」など、新たな研修も取り入れ、非常時の対応に備えている。</li> </ul> <p>(IV-(7)-①)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒主催事業では、子どもの実態等を踏まえ、すべての事業で活動プログラムの改善を図っており、新規参加者、リピーターのいずれからも大変高い満足度を得ている。</li> <li>⇒受け入れ事業では、<b>子どもの実態等を踏まえ、野外炊事やクラフト活動に新規メニューを取り入れたり、ウォークラリー・オリエンテーリングコースの設定を見直したりするなど、大幅に活動プログラムを改善しており、利用者から大変好評を得ている。</b></li> </ul> <p>(II-(2)-①)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冬期の施設利用者の拡大をさらに図っていきたい。</li> <li>⇒<b>12月～2月期間の利用者5団体300人増(前年度比)を施設目標の一つに掲げ、今期もこの期間に特化した啓発活動(下記に主な取組み)を継続して行っている。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初からホームページに12月～2月期間の空室状況を掲載する</li> <li>・大学生サークルなど、12月～2月期間の平日に利用可能な団体に直接呼びかける</li> <li>・冬期ならではの魅力ある活動プログラムを開発し、その活用を啓発する</li> </ul> </li> </ul> <p>(II-(5)-①)</p> <p>指定管理者評価委員会の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各評価項目の具体的な業務要求水準に従い業務が履行されている。</li> <li>⇒多くの評価項目で業務要求水準以上の成果を挙げることが、市民サービスの向上につながるものと考え、今期は特に下記の評価項目に関わる業務の充実を図っている。なお、その具体的な取組みについては、《今期の取組みに対する評価》に記載している。</li> <li>・個人情報保護するための方策(I-(4)-①)</li> <li>・施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置(II-(6)-①)</li> <li>・指定管理経費の妥当性(サービスとコストのバランスなど)(III-(3)-①)</li> <li>・経営基盤の安定性(IV-(3)-①)</li> <li>・地元の住民、高齢者、障がい者等の雇用(V-(3)-①)</li> <li>・地元での資材等の調達(V-(4)-①)</li> <li>・その他、地元への貢献に関すること(V-(5)-①)</li> </ul>
--------------------------	--

<p>今後の取組み</p>	<p>・小中学校や青少年団体等の代表者を委員とする「利用調整委員会」の第3回(10/30)を開催し、市外小中学校及び青少年団体等の次年度の利用日について、公平・公正に調整を図る。 (Ⅰ-1)-①)</p> <p>・自然の家の3つの願いである「ほほえみ、なかま、自然」の具現化を図るため、下記の事業において、それぞれ目標数値を設定し、その達成に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受け入れ事業:3つの願いの達成度70%以上 ※市内小学校(抽出)の児童を対象とした「野外学習アンケート」を活用</li> <li>・主催事業:3つの願いの達成度90%以上 ※各事業の「参加者アンケート」を活用</li> </ul> <p>(Ⅱ-1)-①)</p> <p>・市内小中学校における「土曜授業」の実施に伴い、土・日(1泊2日)に開催する主催事業の活動プログラムを開始時間も含めて根本的に見直し、各事業の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受け入れ事業においては、特に幼児、高齢者、障がい者に対応した活動プログラムと雨天時の活動プログラムの充実を図る。</li> </ul> <p>(Ⅱ-2)-①)</p> <p>・受け入れ事業では、「利用者アンケート」をはじめ、「事前打合せ会」、下見、当日の対応時等、多様な機会に聞き取りを行い、要望、苦情等の把握に努める。また、改善すべき内容には迅速かつ適切に対応し、職員対応等の満足度の向上につなげる。(目標数値:職員対応への満足度「大変満足」「満足」を合わせた割合95%以上)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主催事業では、「参加者アンケート」や感想発表等を通して、要望、苦情等の把握に努める。また、改善すべき内容は次回事業に速やかに活かしていくことで、各事業の満足度の向上につなげる。(目標数値:家族対象事業の満足度「大変満足」「満足」を合わせた割合95%以上 子ども対象事業の満足度「とても楽しかった」「楽しかった」を合わせた割合95%以上)</li> </ul> <p>(Ⅱ-3)-①)</p> <p>・冬季の利用者の拡大のため、今期の取組みに対する評価(Ⅱ-5)-①)に記載した啓発活動を継続するとともに、公園利用者を対象とした「自然体験ミニイベント」(新規の自主企画事業)を実施する。 (目標数値:12月～2月期間の利用者 対前年度比5団体300人増) (Ⅱ-5)-①)</p> <p>・経費削減の取組みをさらに推進するとともに、必要経費に優先順位をつけ、利用者の安全を第一に考えた予算の執行に努める。 (Ⅲ-1)-①)</p> <p>・職員研修については、特に指導力・企画力の向上や活動プログラムの開発に役立つ研修会(下記に例)への参加を予定している。(目標数値:研修への参加 全職員年間6回以上)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東海北陸地区運営研究大会(乗鞍青少年交流の家 1泊2日)</li> <li>・マネジメントセミナー(中央青少年交流の家 2泊3日)</li> <li>・キャンプインストラクター講習(岐阜県森林文化アカデミー 1泊2日)</li> </ul> <p>(Ⅳ-6)-①)</p> <p>・各種安全マニュアルの整備とそれに基づく安全対策の強化を今年度の施設目標の一つに掲げており、今期行った既存マニュアルの見直しや追加項目の検討の結果を踏まえて、各種安全マニュアルの改訂版(項目によっては新規)を作成する。 (Ⅳ-7)-①)</p> <p>・公園管理者(みどりのまち推進財団)、岐阜ファミリーパーク体育館との共催で3月にイベント「ファミリーフェア」を開催する。このイベントでは、共催する2施設(団体)だけでなく、ドリームシアター岐阜、市生涯学習/女性センター、岐阜市消防本部等との連携も予定しており、各施設(団体)の日頃の活動や取組みを啓発する機会になると考えている。 (Ⅴ-2)-①)</p> <p>・ドリームシアター岐阜の主催する「ドリームフェスタ秋」(10月)、三輪北公民館・三輪北自治会連合会の主催する「三輪北文化祭」(11月)、市生涯学習/女性センターの主催する「ハートフルフェスタ」(1月)など、地元で実施されるイベントに積極的に事業協力を行う。 (Ⅴ-5)-①)</p>
---------------	--



### ●所管課の意見

○「指定管理者の選定基準に基づく評価」・「指定管理者の取組に対する自己評価」について

- ・「Ⅰ-(1)-①・(3)-①、Ⅱ-(2)-①・(3)-①・(4)-①・(6)-①、Ⅲ-(3)-①・(5)-①・(6)-①、Ⅳ-(2)-①・(4)-①・(5)-①・(6)-①・(8)-①、Ⅴ-(2)-①・(5)-①」について、「指定管理者の取組に対する自己評価」のとおりとする。
- ・Ⅰ-(4)-①について、「個人情報保護宣言」を定めたことによる効果まで求めたいため「A」評価とする。
- ・Ⅳ-(3)-①について、物的・人的・専門的能力を有していることと経営基盤の安定性との関連について求めたいため「A」評価とする。
- ・その他の評価項目については、「岐阜市少年自然の家 指定管理者 仕様書」の内容通り業務が履行されている。

○利用者の増減について

- ・多種多様な方策により利用促進を図り、今期は前年度比**46団体996人増**の結果となっている。また、開所日数を前年度比**5日増の162日**にしたことも利用人数増につながっている。

○今後の方針について

- ・今後も、安全対策や子どもの実態等の今日的な課題をふまえた工夫、改善を加えながら、施設運営を充実させていくことを期待する。(特に急な天候の変化にも対応できるよう具体的な方策を検討する)
- ・指導者研修について、増やしていけるよう少年団体や子ども会等に働きかける。

### ●指定管理者評価委員会の意見

・各評価項目の具体的な業務要求水準に従い業務が履行されている。

・実際の施設を見て、スタッフの対応が非常に良かった。

・すべての事業に養護教諭の資格を持つ職員を配置すべく、ローテーション等工夫を凝らしており、よく対応できていると思う。